

新製品開発とリサイクル材の再利用による高収益モデルへの転換事業

? 相談内容・支援に至った経緯

- ・プラスチックの射出成型を行う企業(文房具・スマートフォンスタンド、ノベルティーなど)
- ・鉄道向けグッズ、玩具・教材向けタイヤシリーズの付属商品の製作など新たな事業機会が存在
- ・原材料の価格高騰による収益性低下が課題
- ・現工場の契約更新による移転を控え、収益力向上、資金繰りの改善は急務
- ・青木信用金庫の紹介で経営行動計画の作成に取り組むなど、まずは収益力改善支援に着手した

【企業概要】

事業所名 (有) 浅野製作所
業種 製造業 従業員数 3名



i 支援内容・ポイント

- ・「攻め」と「守り」の双方の視点から取組内容を具体化すべく経営革新計画作成支援を実施
- ・「攻め」の視点では、小規模事業者持続化補助金を活用し、タイヤ付きシャーシの試作開発、販売促進ツールとしてのチラシの作成を行った
- ・「守り」の視点では、リサイクル粉碎材の20%が廃棄に回っているという点に着目し、シリンダーに改良を加えた新射出成型機を導入(埼玉県原材料価格高騰対策支援事業補助金を活用)。

📍 支援の効果・成果

- ・収益力改善支援にとどまらず、今後の成長を見据えて経営革新計画にも取り組んだ
- ・経営革新計画をベースに攻めと守りの両面から公的施策を活用し、有利に事業を進めることができた
- ・3年以内に売上高10,000千円アップ、製造原価5%引き下げを見込み、収益性の大幅改善を目論む
- ・埼玉県障害者就労施設パートナーに登録し、障害者の就労支援にも力を入れている
- ・経営者自身が計画作成に取り組み、課題解決の自走化を実現するプロセスコンサルテーションを実施した



相談者の声

- ・事業計画を作成したことにより、何に、どう取り組めばいいか、理解が進みました
- ・計画実施の過程で様々な補助金を活用できたことにより、事業を円滑に進めることができました